

# 清水駅前銀座商店街の売り上げは、年々減少をしている・・・

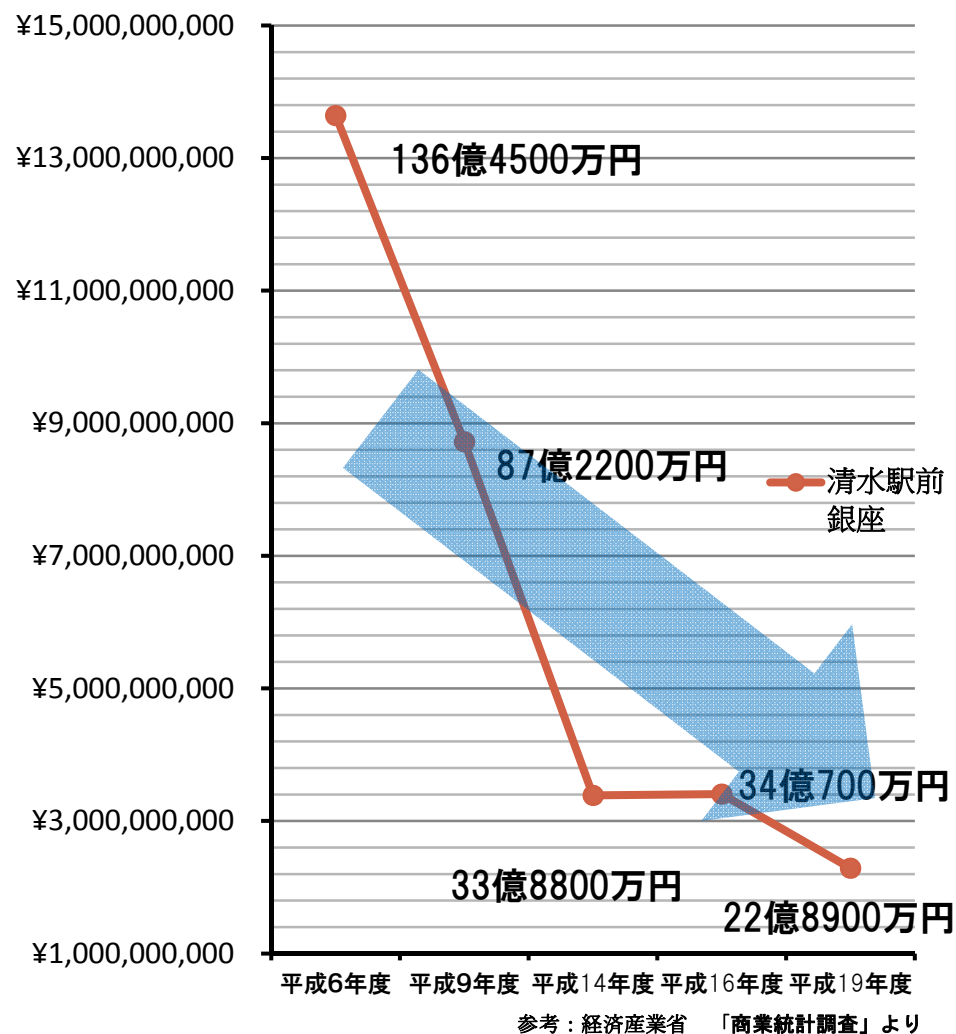
平成16年→平成19年

**32.8%減少**

平成6年	136億4500万円
平成14年	87億2200万円
平成14年	33億8800万円
平成16年	34億700万円
平成19年	22億8900万円



平成24年 **20億**を下回る予測



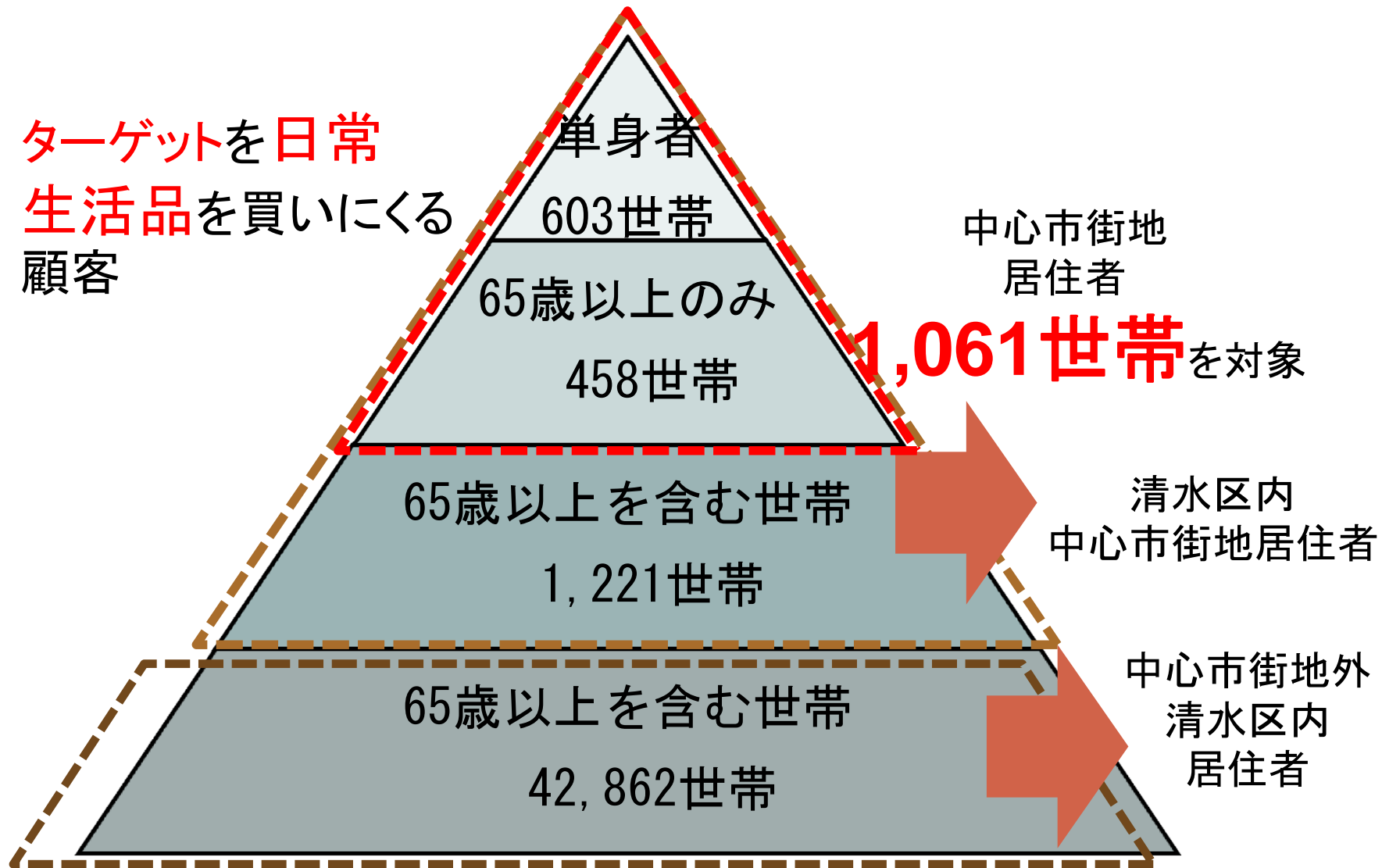
# 目標数値の設定

目 標	内 容
成果目標:5年後 <b>街の台所</b> 商店街	客単価(↑)×来店数(↑)⇒売上(↑) H19年度比 1.61倍 →36.8億円に
2次的 行為目標:3年後 <b>訪れる・活用する</b> 商店街	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 客層に合わせたmap数</li><li>・ 商店街の空家率が50%減少</li><li>・ 来訪者数20%アップ</li></ul>
1次的 行為目標:今年度 <b>参加型</b> 商店街	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第3者による継続的なイベントの開催数</li></ul>

# 対象者の選定

買い物難民者になりやすい高齢者を対象

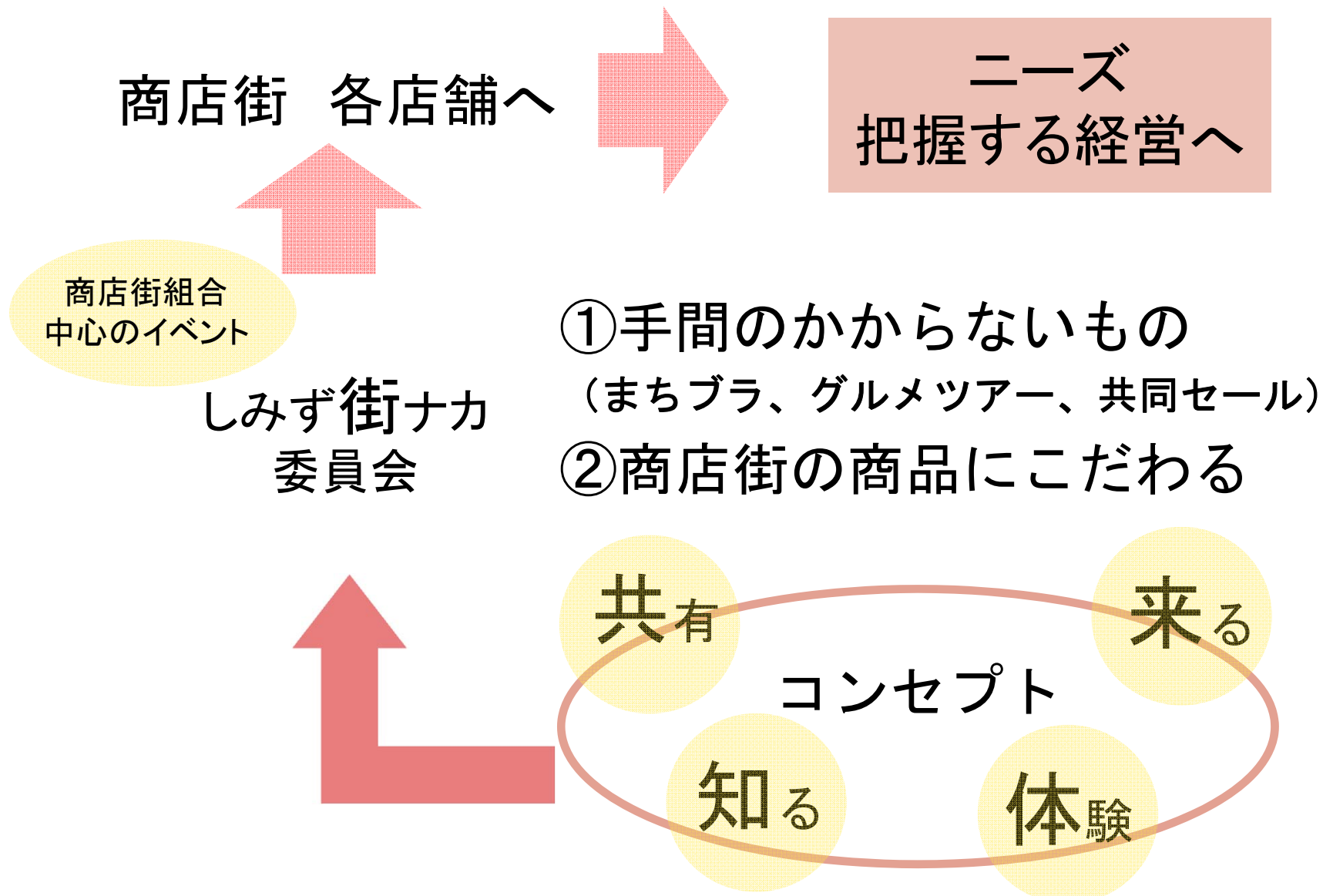
ターゲットを日常生活品を買いにくる顧客



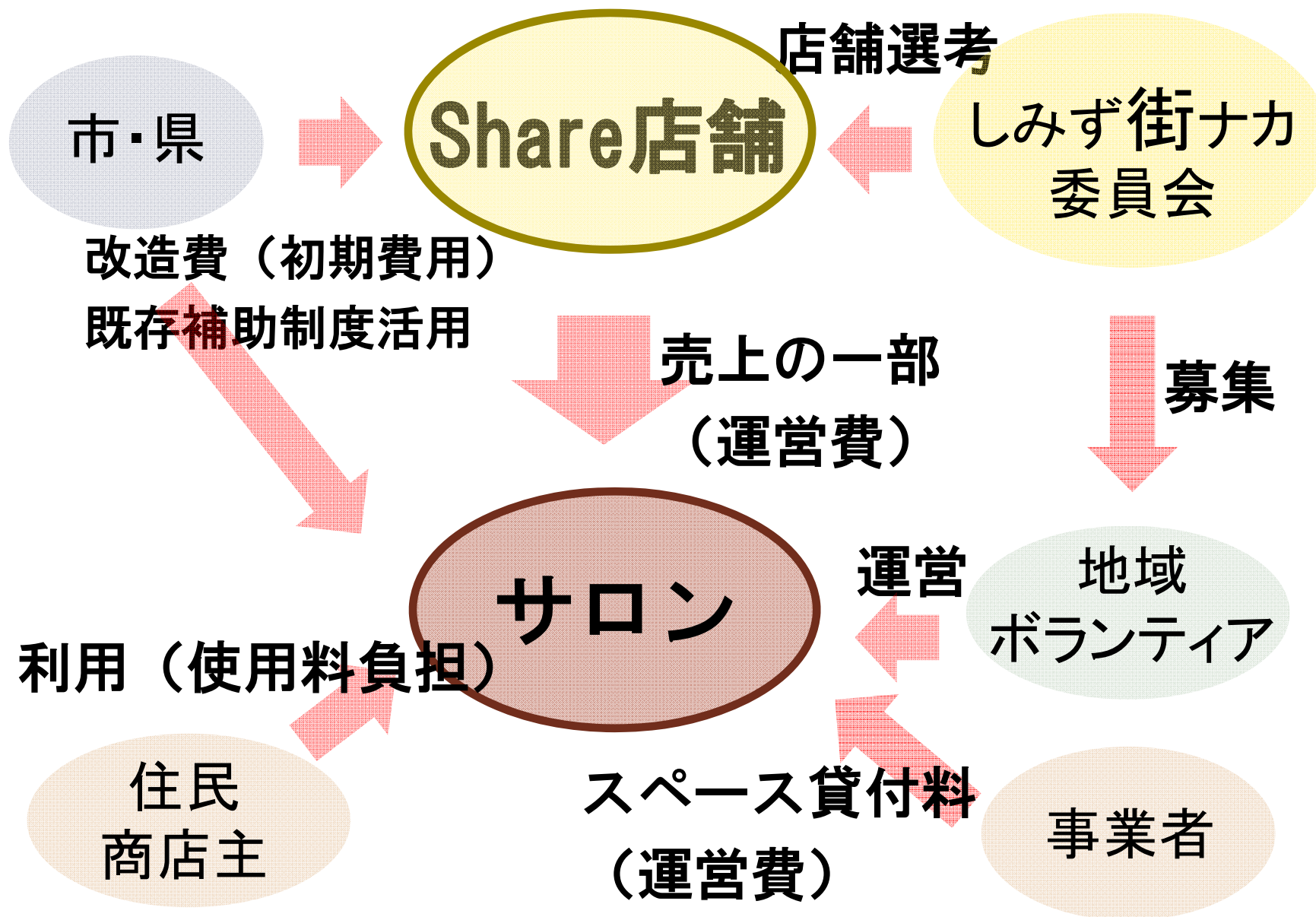
# 提言のための 3 段階の対策

目 標	対策 内容
アウトカム:5年後 街の台所 商店街	地域通貨の 再編成による社会実験
2次的 アウトプット:3年後 訪れる・活用する 商店街	コミュニティ場所 ・共同店舗の提供 自ら作成する参加型のmapづくり
1次的 アウトプット:1年後 参加型 商店街	高齢者を対象とした ぶちEventの開催

# ぶちEventの実施 ~1次的 Output~



# Share店舗・サロンImage figure ~2次的 Output~



# サロンの仕組みと目的 ~2次的 Output~

## 参加型のmapづくり

空き店舗を活用した

運営を高齢者  
主体のボランティア  
と委員会スタッフ

「しみず街なかサロン」を開設

地域の高齢者が主体

主目的 → 会員制による活動場・交流場

副目的 → 利用者による参加型map作成 等

利用者・参加者に  
地域通貨(たまごスタンプ)  
を特典

- ①来街を増やす
- ②利用促進



# 地域通貨の社会実験 フロー図

～3次的 Outcome～

